

# Istanbul Weekly vol.5-no.23

## イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年6月24日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治：**司法改革法案が国会で審議へ。野党側は大統領の司法支配と批判。  
トルコ・イスラエル、関係正常化で近々合意か。
- 経済：**中央銀行、金利引き下げ。  
UNCTAD 海外直接投資報告書：トルコは世界で第20位。
- 治安：**イスタンブールでラマダン中に飲酒をしていたレコード店が襲撃される。  
LGBT 集会へのテロを計画していた ISIL メンバー3人を拘束。  
トルコ警察が自爆テロ対策チームを大都市に設置。
- 軍事：**トルコ軍の砲撃と有志連合軍の空爆で ISIL 戦闘員多数殺害。
- 社会：**エブルで描かれる「星月夜」（ヴァン・ゴッホ）。  
アニが世界遺産候補に。

### 政治

#### 【内政】

#### ●MHP が党の内規の改正のための臨時党大会を開催

19日、MHPの反執行部派を中心に党の内規改正のための臨時党大会が開催され、党首選実施を困難にしていた党内規の変更を採択した。しかし、党首候補者の内、アクシェネル氏と他4氏との間に亀裂が入ったことも顕在化し、反体制派側が一枚岩でないことも露呈した。また、執行部派は今回の党内規の改正には手続き上の瑕疵があるとして司法に訴える構えを見せており、7月10日の臨時党大会まで混乱は続く見通し。（6月20日付C紙11面他）

#### ●定例閣議が開催、南東部の復興など協議

20日、エルドアン大統領の主宰で約6時間にわたって閣議が開催され、PKK等とのテロとの闘いを巡る最新の状況、特に、PKKとの戦闘で荒廃した南東部の諸都市の復興に向けた対応が話し合われた。また、PKKを支援する南東部のHDP選出市長等に対する罰則等の対応についても協議された。（6月21日付S紙22面）

#### ●司法改革法案が国会で審議へ。野党側は大統領の司法支配と批判。

司法改革法案が、27日の週に国会に提出され、審議される見込みとなった。同法案によれば、行政最高裁判所及び民事刑事裁判所に所属する現在の検察官・裁判官の大多数が一旦任期を終了させられ、人数を大幅に減らして再選出されることになる。また、その際は、大統領及び政府の影響下にある検察官・裁判官高等委員会が人選することができる。野党側は、エルドアン大統領による司法の支配であり、司法の独立性を奪う暴挙として激しく反発。（6月22日付C紙4面他）

#### ●ユルドゥルム首相：「実権型大統領制は事実上始まっている」

ユルドゥルム首相は、大統領が国民の直接選挙により選出されて以来、事実上実権型大統領制に移行したと主張し、「かかる現実がある中、憲法を実態に合わせる必要がある、つまり、新憲法の制定である」と述べた。同首相はまた、実権型大統領制は、地方自治体の首長と同じであるとして、「議会と首長は別々に選ばれている、重要な事柄は議会に持ち込まれている、いかなる場合も連立はなく、一人の首長がいる」と述べた。（6月17日付M紙インターネット版）

#### 【外交】

#### ●チャヴシュオール外相、アフガニスタンを訪問

16日、チャヴシュオール外相は、ミャンマー、スリランカ訪問に続いて、アフガニスタンを訪問した。ガーニ・アフガニスタン大統領との会談で、同外相は、アフガニスタンに進出するトルコ企業の数が増加していると言及しつつ、トルコはアフガニスタンの将来に対する支援を今後も続けると強調した。（6月17日付M紙インターネット版）

#### ●トルコ・イスラエル、関係正常化で近々合意か

2010年以来関係が悪化していたトルコ・イスラエル間の関係正常化に向けた協議が水面下で進められてきたところ、26日にも関係正常化が発表され、7月中にも両国外務次官の関連文書署名や双方大使の任命等の外交関係正常化が実現する見込み。トルコが主張してきたガザ封鎖解除については、トルコ側による医療機材等の人道支援物資の搬入をイスラエル側は妨げないとの内容で合意がなされた模様。（6月21日付H紙1面）

#### ●チャヴシュオール外相：「英国はEUに残留すべき」

22日、チャヴシュオール外相は、23日に実施される英EU残留・離脱を問う英国の国民投票に関し、EUが力強い連合であるべきだとしつつ「英国がEUを離脱すれば必ずや否定的な影響が出る」と述べた。また、国民投票の議論でト

ルコが頻繁に言及されていることについて、肯定的に見れば、トルコがそれだけ EU にとって重要である証左であり、トルコはこれまで EU の重荷になったことはない」と述べた。(6月22日付 H 紙インターネット版)

### ●エルドアン大統領発言：「トルコも国民に EU 加盟是非を問う」

22日、エルドアン大統領は、私立大学の卒業式のスピーチで、トルコは EU 加盟を 53 年間も待たされ続けているとして、「EU は我々の大多数がムスリムであることを理由に加盟を認めていない。我々も、英国が行おうとしているように、国民に『EU への加盟交渉を続けるか、もしくはもう十分か』と問うことができる」と述べた。(6月23日付 H 紙 1 面)

## 経済

### 【マクロ経済】

#### ●6月の消費者信頼感指数、上昇

22日、統計庁は6月の信頼感指数を発表した。同指数は、前月の 68.75 から 69.43 に上昇した。うち、家計の経済状況予測指数は 91.21 (前月比 1.4%上昇)、貯蓄可能性予測指数は 24.55 (同 9.9%上昇)、失業数予測指数は 70.64 (同 2.4%上昇) といずれも前月比で改善、一般経済状況予測指数のみ 91.32 で同 2.6%減少となった。(6月23日付 HDN 紙 10 面)

### 【経済政策】

#### ●トルコ、EU との関係

シムシェッキ副首相は、EU については英国の離脱問題等があるものの、トルコは EU との緊密な関係を維持しており、今後は関税同盟の交渉をより深化させていきたいと述べた。(6月17日付 HDN 紙 10 面)

#### ●トルコ、イランとの貿易を 3 倍に

テュフェンキチ税関・貿易相は、イラン経済制裁が完全に解除された暁にはできるだけ早くイランとの貿易量を 300 億ドルにまで増加させたいと述べた。2015 年のトルコとイランの貿易額は 100 億ドルを下回っていた。(6月10日付 HDN 紙 11 面)

#### ●中央銀行、金利引き下げ

中央銀行は、金融政策決定会合を開催し、翌日物貸出金利を 0.5%引き下げ 9%とした。一方、1週間物レポ金利は 7.5%、翌日物借入金利は 7.25%とそれぞれ据え置くこととした。利下げは 4 か月連続。同行は、食料品価格の推移とコアインフレ率の改善により、ここ数か月間でインフレ率が著しく低下していると指摘しつつ、サービス業におけるインフレ率と単位労働コストの動きが、引き締めスタンスの維持を必要としていると指摘。また、同行は、今後の金融政策の決定は、インフレ率の予測、価格設定行動及びインフレ率に影響を与えるその他の要因を考慮しつつ、金融政策における引き締めのスタンスを継続させるとした。

(6月22日付 HDN 紙 10 面)

#### ●破産手続き停止法案、間もなく国会に提出予定

22日、テュフェンキチ税関・貿易相は、破産手続き停止に関する法案は大部分が準備で整っており、ラマダン明けの連休が始まる前に国会に提出される予定であると述べた。破産手続き停止とは、損害を回収するために財政的困難に会社直面していたり、会社の経営状況を改善するための企業にとっての法的な手段である。2015 年以降、1000 社以

上が破産手続き停止を希望しているが、専門家はこれが不正利用されており、経済に悪影響があると指摘。トルコ銀行協会も、破産手続きの停止の決定が形式的に判断されていると警告している。

(6月23日付 HDN 紙 10 面)

#### ●研究開発関連支出、2015 年は 61 億リラ

統計庁によると、2015 年の政府の研究開発関連支出は、前年比 10%増加し 61 億リラ。GDP の 0.32%を占め、政府予算の 1.08%に相当する。2016 年の当初予算では 74.6 億リラが計上されている。(6月21日付 Daily Sabah 紙インターネット版)

### 【観光関連】

#### ●観光業界、イメージ回復の計画を提案

トルコ旅行業協会 (TURSAB) はユルドゥルム首相に対し、ラマダン明け休暇前にトルコのイメージを一新すべく新たな計画を提出し、政府の観光行動計画をさらに拡充することを求めた。政府は、観光部門を支援すべく、2 月に観光に関する行動計画を発表、その後飛行機の燃料費助成拡張等、いくつかの支援策を追加している。(6月23日付 HDN 紙 10 面)

### 【企業等の動き】

#### ●ブルサのネスレの工場でスト開始

ブルサ市カラジャベイ地区のネスレの工場で、賃上げの団体交渉が決裂したとして従業員ら 900 名がストを開始。食品労働組合の Tek Gıda-İs のムスタファ・トウルケル委員長は、600 リラの賃上げのための団体交渉は年初に開始し 4-5 か月にわたって継続してきたが妥結に至らず、ストに至ったと発表。ネスレ側はプレス発表において、組合側との交渉においてインフレ率の 2 倍以上の賃上げを提案したが、組合側は当初の要求を取り下げなかった等言及した。

(6月21日付 M 紙インターネット版)



(写真は 6 月 21 日付 M 紙インターネット版から)

### 【イスタンブール関連】

#### ●イズミット湾横断橋 (オスマン・ガーズィ橋) 通行料引き下げ

イスタンブール - イズミル間の移動を 3.5 時間で結ぶゲゼ・オルハンガーズィ・イズミル自動車道プロジェクトの最も重要な部分であるオスマン・ガーズィ橋の通行料を 35 ドル+付加価値税 (121 リラ) から引き下げるための計算が大部分終了し、乗用車の通行料は 25%減の 90-91 リラとなる見通し。6月30日にエルドアン大統領、ユルドゥルム首相出席の下、開通式典が行われる予定で、開通すればイズミット湾を約 4 分で横断することができる。また、砂糖祭の期間中 9 日間にわたり通行料を無料とする方向で検討がなされている。(6月21日付 M 紙インターネット版)



(写真は6月21日付M紙インターネット版から)

### 【その他】

●UNCTAD 海外直接投資報告書：トルコは世界で第20位  
UNCTAD 海外直接投資報告書 2016によると、2015年の対トルコ海外直接投資(FDI)は、前年比36%増の165億ドルで、世界で20位(昨年度は121億ドルで22位)、開発途上国の中では8位(昨年度12位)となった。トルコはアジアの中で、香港、中国、シンガポール、インドに続いて5位。トルコへの海外直接投資のうち26%が不動産の購入で、22%が金融、保険、10%が運輸、倉庫関係。トウルナール国際投資家協会(YASED)事務局次長は、本件報告書に関する会合において、トルコが世界の投資の1%(0.94%)を占めていることに言及しつつ、これを3%に上昇させる必要があるとともに、トルコが地域の中心となる必要があり、生産及び雇用に繋がる投資を呼び込む必要があると述べた。(6月21日付M紙インターネット版、6月22日付Haberler.com)

### ●2025年には、イスラム銀行がトルコの銀行取引の10%に

信用格付のS&Pは、最近のレポートで、トルコにおける銀行取引のうち、イスラム銀行の占める割合が現在の5%から2025年には10%になると予測。政府の支援がイスラム銀行の発展に大きく貢献するとともに、今後2、3年の間に、トルコで営業しているイスラム銀行によりスクーク(イスラム法に基づく債権)の輸出が大幅に増加するとみる。(6月22日付Daily Sabah紙インターネット版)

## 治安

### ●警察がHDP 共同党首の自宅を捜索

15日、イスタンブールに所在するユクセクダーHDP 共同党首の自宅が、極左団体ESPおよび同MLKPの関連施設との疑いで警察の捜索を受けた。警察は、同共同党首自身に向けられた容疑ではなく、同自宅で勤務していたフェディメ・Cが極左組織のメンバーで、コバーニで軍事訓練を受け、テロ攻撃を実施するためにトルコに戻ったため関連の捜索を行ったとしたが、捜索の結果、容疑者のパスポートや所持品等は発見されたが、容疑者本人の拘束には至らなかった。ユクセクダー共同党首は、捜索は非合法であるとして反発。(6月17日付HT紙20面)

### ●HDP 党員らがイスタンブール車両自爆テロ犯の葬儀に出席

15日、6月7日イスタンブールの旧市街で、機動隊バスに対する車両自爆テロを実行したPKK構成員のエイレム・ヤシヤの葬儀がディヤルバクル県内で行われ、PKKのスローガンやPKKの旗が使用されるとともに、多くのHDP関係者が出席した。(6月17日付S紙インターネット版)

### ●ラマダン中に飲酒をしていたレコード店が襲撃される。

(1)17日、イスタンブール市ベイオール区において、新アルバムの発表イベントで飲酒パーティをしていた韓国人経営のレコード店に対して20名ほどの男達が押し入り、「ラマダン中に酒を飲んで恥ずかしくないのか!」等と叫びながら瓶や棒で居合わせた客を殴りつけ、店舗を破壊する事件が発生した。警察は3名の被疑者を拘束したが、19日までに全員を釈放した。18日には、同ベイオール区ジハンギル地区で、この事件に抗議して約300名の群衆が酒を路上で飲むなどの抗議行動を行い、警察が放水や催涙弾を使用して解散させる事態となった。(6月20日付HT紙13面)

(2)21日、クルトゥルムシュ首相は、同事件につきコメントし「このような行動は、ISILと同様のメンタリティであり、トルコにはふさわしくない。この上なく醜悪な攻撃である。断食は、忍耐を意味する。」と述べた。(6月22日付HT紙16面)

(3)22日、デミルジャン・ベイオール区長は、襲撃の被害に遭ったレコード店長の韓国人を招き、「レコード店を再開して欲しい」などと激励した。(6月23日HDN紙2面)



(写真：同インターネット版)

### ●50人のLGBT デモを強制解散

19日、タクシム広場周辺において、同性愛者擁護デモ計画をイスタンブール県知事が不許可としたことに抗議する50名ほどのデモが実施された。デモは笛を鳴らし、プラカードを掲げ、警察が封鎖するタクシム広場へ向かったが、機動隊の催涙ガスにより強制解散させられ、参加者15名が拘束された。イスタンブール県知事は、6月19日から26日までの間、どのようなLGBT デモも治安上の懸念と社会秩序の維持のため許されないと発表していた。(6月20日付HT紙13面)

### ●LGBT 集会へのテロを計画していた ISIL メンバー3人を拘束

イスタンブール県警テロ対策課がペンディック区、バシヤクシェヒル区のISILのアジトに対する捜索を実施した結果、3名のISIL構成員を拘束し、自爆ベスト3着、多数の軍事用品、ナイフ、レーザー距離測定器等が押収された。また、ISIL構成員間の通信に使われていた特別なソフトウェアも押収した。同ISIL構成員らは、LGBT集会へのセンセーショナルな攻撃を計画していたという。(6月22日付C紙12面)

### ●昨年10月に ISIL が車両爆弾テロのテストドライブを実施。

(1)検察官が関連の裁判で明らかにしたところによると、昨年10月25-26日にディヤルバクル県において実施されたISIL関係箇所の一斉捜索の4日前に、ISILメンバー達は、自爆のための自動車爆弾のテストドライブを実施していた。また、15名の自爆テロリスト達は、シリアのラッカ

からディヤルバクルに送り込まれた後はアジトから出ることを許されず、生活必需品は他のメンバー2名が届けていた。(6月19日H紙インターネット版)

(2)同捜索において、ISIL 戦闘員が作成した、家族に宛てられた「遺書」等が押収されていた。遺書の中で、「本当のイスラムの国は ISIL である」、「死ぬ覚悟はできている」、「あなたは殉教するつもりはあるか」などと述べていた。また、ISIL に忠誠を誓ったトルコ語の手紙等も見られている。(6月22日付M紙インターネット版)

#### ●エルドアン大統領、ゲジ公園の再開発を宣言

18日、エルドアン大統領は、2013年に大規模な反政府抗議行動のきっかけとなった、タクシム広場に隣接するゲジ公園の再開発の実施を宣言した。「歴史を思い起こせば、この場所には歴史的建造物があった。それを再建する」と述べ、歴史博物館が市営博物館になるかは不明だが、ドイツやフランスやアメリカの歴史の負の側面も展示されることになるだろうと付け加えた。独連邦議会でのアルメニア人「虐殺」法案採択に対する反発があるとみられている。(6月20日付C紙10面)



(写真は6月20日付ビルグイスタム・コムより)

#### ●ディヤルバクルで PKK 掃討作戦

19日、外出禁止令が出されているディヤルバクル県リジェ郡の13の村で、PKK 掃討作戦が行われ、PKK 戦闘員7名が殺害された。(6月20日付HT紙13面)

#### ●トルコに入国しようとした ISIL 構成員 3 名を拘束

19日、キリス県のジャンダルマ(軍警察)は、シリアから国境を越えてトルコに密入国しようとした ISIL 構成員3名を拘束した。(6月20日付HT紙13面)

#### ●マルディン県で店舗に手榴弾が投げられる

19日午後7時半頃、マルディン県クズルテペに所在する店舗に対して、何者かが手榴弾を投げ入れ、4名が負傷した。(6月20日付HT紙13面)

#### ●アンカラで PKK 幹部が複数逮捕

19日、アンカラ県、デニズリ県、アダナ県で行われた同時オペレーションによって PKK 幹部3名が拘束された。同人らに対する取り調べによると、「国内14都市に爆発物を隠した。」「ザップ、メティナ、ベルガリ、ゲアの各訓練キャンプから PKK 戦闘員287名がトルコに送り込まれた。彼らは皆、爆発物による攻撃の訓練を受けている。」と語った。(6月20日付H紙インターネット版)

#### ●PKK に近いメディアを支持したジャーナリストや人権活動家が拘束

PKK に近いとみられ、何度も当局に閉鎖されているオズギュル・ギンデム紙への連帯を表明するキャンペーンを行っていたジャーナリスト2名と人権活動家1名が、イスタンブール裁判所の命令によりテロのプロパガンダを行った容疑で拘束された。(6月21日付C紙16面)

#### ●電車とミニバスの衝突で9名死亡

20日朝、エラズー県において、電車とミニバスが衝突し、9名が死亡、複数が重傷を負った。(6月21日付C紙インターネット版)

#### ●国境を渡ろうとした一般シリア人殺害との非難にトルコ外務省は反論。

シリア人権監視団やシリア国民連合が、トルコ治安部隊が18日にシリア国境を渡ろうとしたシリア国民に攻撃を加え計11名が死亡したとしてトルコを非難している事案について、トルコ外務省報道官は、「事実を反映しておらず、治安部隊が国境沿いの事案や密入国に対応する際には、法律の枠内で実施している」と反論した。(6月21日付C紙6面)

#### ●イスタンブールで過去5年間に車両644台が放火される

イスタンブールにおいて、過去6ヶ月間に車両135台が何者かに放火された。過去5年間でも車両644台が放火されている。放火が多い地区は、エユブ、ファーティヒ、キャウトハネとなっている。(6月21日付S紙インターネット版)

#### ●警察がイマームのリストの提出を宗務庁に要請

警察庁は宗務庁に対し、国家公務員であるイマーム(宗教指導者)についての情報を提出するよう要請する文書を送付した。国内では10万7000人のイマームがおり、イマームに関する情報は、組織犯罪や、テロ、違法なNGOに関する捜査に使われるという。(6月21日付C紙11面)

#### ●ディヤルバクル県で1トン爆薬を積んだミニバスが押収

21日、ディヤルバクル県エルガニ郡の郡庁建物前に、1台のミニバスが駐車しようとしたが、村落警護員が不審に思い駐車を許可しなかった。その後、警察が車両ナンバーから同ミニバスを追跡し、郡庁から3キロ離れたところに駐車されていたミニバスを捜索したところ、車内から1トンの爆薬が発見され、警察により押収された。(6月22日付HT紙15面)

#### ●イズミルで PKK エーゲ組織へのオペレーション

ヌサイビン県でPKKのアジトから押収された「PKKエーゲ組織」に関する資料にもとづき、21日、イズミル県のチリ郡とガジエミル郡でPKKへのオペレーションが実施された結果、17キロの爆発物や8丁の狩猟用ライフルが押収された。PKKは、これらをセンサーショナルなテロ攻撃に使用しようとしていたという。(6月22日付HT紙15面)

#### ●ディヤルバクル県で大規模 PKK 掃討作戦開始

ディヤルバクル県内33カ所において外出禁止令が出され、県内の郊外で大規模なPKK掃討作戦が展開されている。主要な目的は、PKKの貯蔵庫と大麻の畑の殲滅であるという。これには、1万人の治安部隊が参加し、25の村において、外出禁止令を出した上での掃討作戦が行われている。また、ディヤルバクル県と、ハッカリ県のPKK拠点に対して空爆も実施された。(6月22日付HT紙15面)

#### ●トルコ警察が自爆テロ対策チームを大都市に設置

アンカラや、イスタンブール、ディヤルバクルで発生している自爆テロを受けて、トルコ警察は、自爆テロ対策の新部署を設置することを決めた。第一段階として、大都市の情報部門に自爆テロ対策チームが設置されることとなった。(6月22日付HT紙15面)

#### ●首相、PKK を支援している地方政府があると批判

21日、ユルドゥルム首相は、南東部のHDP党員が首長を務める地方政府の中に、PKKを支援している者がおり、すぐに処罰されるであろうと述べた。AKPの会合において、同首相は「HDPとその地方組織DBPの首長が、インフラ整備や社会福祉に使われるべき国家の資金を様々な手段や偽装

を使ってPKKに環流させている」などと話した。(6月22日 HT紙16面)

#### ●トルコ「平和指標」で世界第145位。

オーストラリアに所在するIEP (Institute for Economics and Peace) が発表した、世界平和指標において、トルコは163カ国中145位にランクされた。

同指標は、人権尊重、犯罪認知率、軍事費等 23 の平和に関する要素から算出される。アイスランドが1位であり、シリアが最下位となった。トルコは、PKK との戦闘や近隣国との関係悪化、テロリスクの上昇等により、順位を前年より7位下げた。(6月22日付 M 紙インターネット版)

#### ●イズミル県で PKK が警察署に対してロケット弾攻撃

22日午後11時45分頃、イズミル県のバユンドゥル郡の警察署に対して、PKKが3発のロケット弾を発射した。ロケット弾は警察署建物には当たらず、同警察署近くの病院の壁、民家の屋根、店に着弾したが、負傷者はいなかった。(6月23日付 HT 紙15面)

#### ●ヴァン県の高速度道路で PKK が警察を攻撃

22日、ヴァン県のビトリス-ヴァン高速度道路の検問所の警察官に対し、PKKが攻撃を実施。戦闘に巻き込まれた市民2名とPKK戦闘員3名が死亡した。(6月23日付 HT 紙15面)



#### ●ブルサ県で山火事

ブルサ県のブルサ-イズミル高速度道路から約3キロ離れた場所で山火事が発生しており、警察が原因を調査中。(6月23日付 T 紙インターネット版)

### 軍事

#### ●トルコにロケット弾を発射しようとした ISIL 戦闘員に対する空爆実施

(1) 軍参謀本部によると、トルコにロケット弾を打ち込もうと試みる ISIL の関連施設等に対して、トルコ軍と有志連合が合同で空爆等を実施し、ISIL 戦闘員 8 名が殺害された。(6月20日付 HT 紙13面)

(2) YPG と反政府勢力の同盟軍は、現在 ISIL にとっての要衝の地であるマンビジに続く最後の道路を制圧する間近まで迫っている。YPG はシリア北東部の多くを既に掌握しているが、ユーフラテス川西側への前進はトルコの強い反対により制限されている。(6月20日付 HDN 紙1面)

(3) 19日、トルコ空軍の発表によると、ISIL の拠点 33カ所に対するトルコ軍の砲撃及び有志連合軍の空爆によって、ISIL 戦闘員 23 名が殺害された。さらに、3つの建物と、一つの防御陣地、1台の対戦車ロケットも破壊された(6月21日付 HT 紙13面)

(4) 22日、トルコ軍の発表によると、ISIL 拠点 32カ所に対するトルコ軍の砲撃と有志連合軍の空爆によって、計13名の ISIL 戦闘員が殺害された。(6月23日 M 紙インターネット版)

### 社会

#### ●エブルで描かれたヴァン・ゴッホ

(注：エブルとはトルコで発達した紙の装飾技法)

トルコ人のエブル作家ガリッブ・アイ氏が、オランダの印象派の画家ヴィンセント・ヴァン・ゴッホの「星月夜」の絵を水面で見事に再現し、世界中のメディアから注目を集めている。アイ氏のフェイスブックの公式ページに掲載されているエブル制作動画は、現在まで2千万回以上再生され、CNN インターナショナルでも報道された。(6月17日付 HT 紙29面他)



(写真は6月17日付 HT 紙インターネット版から)

●トルコ人たちは祈りは捧げるがコーランを知らない  
ジュバーデム大学神学哲学学部で教鞭をとるエムレ・ドルマン氏は次のように述べている。「トルコ人はコーランにある祈りを唱えているが、コーラン自体を読んでいない為、コーランの基礎的な論理を理解していない。時の流れと共にコーランに書かれていないものが預言者ムハンマドの言葉と信じ込まれているため、多くのイスラム教徒がイスラムの本質から遠ざかる原因となってしまった。イスラム教はとても論理的であるが、多くの人たちがイスラムについて十分な知識を持たないため先入観を持っている。その原因の1つはコーランから遠ざかっている事、2つ目はコーランが出所となっていない事がコーラン以上に信じられていることだ。トルコにおいてはアラーの存在を信じていると言葉では言いつつも、まるでアラーの神などいないかのように生活している人がいる。コーランにある祈りを唱えているが、コーラン自体を知らない人が少なくない。」(6月20日付 HDN 紙4面)

#### ●タラブヤに自転車専用道設置

自転車協会の申し入れを踏まえ、イスタンブール市が整備を続けている自転車専用道は、エミルギャン地区の海岸線沿いから北はタラブヤまで延長される。また、エミルギャンから南へ延びるバルタリマヌまでの自転車専用道も短期間で整備される予定。(6月21日付 HT 紙19面)



(写真は6月21日付 HT 紙インターネット版から)

### ●気温 38 度を記録

週末（6月18-19日）38度に達した気温に加えて湿度も急上昇したイスタンブールで、市民の多くは森林へ涼を求めた。しかし、市が海水の浄化を図り、脱衣室やシャワーも設置したジャッデボスタン海岸は、日中暑すぎて訪れる人はほとんどいない。涼を求める人たちが海に足を延ばしたのは夕方になってからだった。（6月20日付HT紙21面）

### ●アニ、世界遺産候補に

11-12世紀のものとみられるイスラム建築が残るカルス県のアニ遺跡が、イスタンブールで7月に開かれるユネスコの世界遺産委員会で文化遺産登録を待つ候補の中に入っている。21か国から成るユネスコ世界遺産委員会は33の部門で世界遺産登録に関する決定を下す予定。委員会開催国であるトルコからは、昨年はヘヴセル（ディヤルバクル県のチグリス川のほとり）、エフェス（イズミール県にある遺跡）が世界遺産に登録されている。（6月21日付HT紙21面）



（写真は6月21日付HT紙インターネット版から）

### ●ブユクチェクメジェとブルサ・ムダンヤ間のフェリーが24日に開通

イスタンブール市のアクギン・ブユクチェクメジェ区長は、イスタンブール市とブルサ県が共同で進めてきたブユクチェクメジェとムダンヤ間のフェリーが運行を開始すると述べた。最初の運行は6月24日（金）の14:00。最初の運行では運賃は無料。（6月22日付HT紙23面）



（写真は6月22日付HT紙インターネット版から）

### ●26年間未完成だったダムにISKI（イスタンブール上下水道局）が手を伸ばす

イスタンブールの水源として26年前に当時のソゼル市長がメレン・ダム建設を決定したが、今も未完成ままであったところ、ISKIが2億リラを投入することで建設が加速されることが期待されている。地球温暖化が進み夏季の水の供給確保が難しくなっている中、メレン・ダムの完成は大きな意味を持つ。（6月22日付M紙インターネット版）



（写真は6月17日付HT紙インターネット版から）

### ●キャウトハーネとエユップ間に鉄道

第一次世界大戦中イスタンブールのエネルギーの供給を支えるために建設されたとされる金角湾-黒海沿岸の鉄道路線を復活させるプロジェクトがイスタンブール市議会に取り上げられ、金角湾-黒海沿岸の鉄道路線をさらにキャウトハーネ-エユップにまで延伸することを含むプロジェクトを承認した。（6月22日付M紙インターネット版）



（写真は6月22日付紙インターネット版から）

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

| 略語     | 正式名称                   | 略語      | 正式名称             |
|--------|------------------------|---------|------------------|
| AFAD   | 首相府緊急災害事態対応総局          | ÖSB     | PKKの防衛隊          |
| AKP    | 公正発展党（現与党）             | OIB     | 首相府民営化管理庁        |
| BDDK   | 銀行監督庁                  | PKK     | クルディスタン労働党       |
| BDP    | 平和民主主義党（クルド政党）         | PYD     | シリア民主主義連合党       |
| BOT    | 建設・運営・譲渡方式             | RP      | 福祉党              |
| CHP    | 共和人民党（最大野党）            | RTÜK    | ラジオ・テレビ高等機構      |
| DEP    | 民主党                    | SNC     | シリア国民評議会         |
| DHKP/C | 革命人民解放党/戦線             | SPK     | 証券取引監査院          |
| DHMI   | 国家航空局                  | SSM     | 防衛産業庁            |
| DISK   | 先進労働組合連合               | TBB     | トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会 |
| DTK    | 民主主義社会評議会              | TCDD    | トルコ国鉄            |
| DTP    | 民主社会党                  | TDHB    | トルコ歯科医師会         |
| DYP    | 正道党                    | TESK    | トルコ商工業連合         |
| EDAM   | 経済外交政策センター             | THY     | ターキッシュ・エアラインズ    |
| EPDK   | エネルギー市場監督庁             | TİKKO   | トルコ労働者・農民解放軍     |
| HDP    | 人民民主党（クルド政党）           | TMMOB   | トルコ・エンジニア・建築会議連盟 |
| HSYK   | 裁判官・検事高等委員会            | TOKİ    | トルコ集合住宅開発局       |
| İDO    | イスタンブール海上フェリー会社        | TOMA    | 放水装甲車            |
| İHH    | 人権・自由・人道支援団体           | TPAO    | トルコ石油公団          |
| İKSV   | イスタンブール文化芸術財団          | TTB     | トルコ医師会           |
| İSO    | イスタンブール産業会議所           | TÜBİTAK | トルコ科学技術研究機構      |
| İşİD   | イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系） | TÜİK    | トルコ統計庁           |
| İTO    | イスタンブール商工会議所           | TÜPRAS  | トルコ石油精製会社        |
| KCK    | クルディスタン共同体同盟（PKK系）     | TÜSİAD  | トルコ産業・実業家協会      |
| KESK   | 公務員労働組合連合              | TÜYİD   | トルコ投資家関係協会       |
| KRG    | 北イラク政府                 | YÖK     | トルコ高等教育評議会       |
| MHP    | 民族主義者行動党（野党）           | YSK     | 選挙高等委員会          |
| MİT    | 国家諜報機関                 |         |                  |

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

| トルコ語新聞     |    | 英字新聞                         |      | 通信社                  |     |
|------------|----|------------------------------|------|----------------------|-----|
| Akşam      | A  | Economist                    | EC   | Anadolu News Agency  | AA  |
| Cumhuriyet | C  | International New York Times | INYT | Agence France Presse | AFP |
| Habertürk  | HT | Hürriyet Daily News          | HDN  | Çihan News Agency    | CA  |
| Hürriyet   | H  | Today's Zaman                | TZ   | Doğan News Agency    | DA  |
| Milliyet   | M  |                              |      | İhlas News Agency    | İA  |
| Posta      | P  |                              |      | Interpress           | IP  |
| Radikal    | R  |                              |      |                      |     |
| Sabah      | S  |                              |      |                      |     |
| Taraf      | T  |                              |      |                      |     |
| Vatan      | V  |                              |      |                      |     |
| Zaman      | Z  |                              |      |                      |     |

#### 在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

#### 【被害】

| イスタンブール邦人被害統計                        |    |    |    |    |          |            |    |    |
|--------------------------------------|----|----|----|----|----------|------------|----|----|
| 2016.1.1～2016.6.23 ※総領事館に訴出があったものを集計 |    |    |    |    |          |            |    |    |
| 年                                    | 窃  | 盗  | 詐  | 欺  | ぼったくり/バー | 高額絨毯購入(相談) |    |    |
|                                      | 今週 | 通算 | 今週 | 通算 | 今週       | 通算         | 今週 | 通算 |
| 2015年                                |    | 8件 |    | 6件 |          | 20件        |    | 9件 |
| 2016年                                | 0件 | 3件 | 0件 | 2件 | 0件       | 12件        | 0件 | 1件 |

●今週は、被害の発生はありませんでした。

#### ★当館 HP 更新のお知らせ★

●イスタンブール工業会議所主催「JAPAN COUNTRY DAY」(6/13) **NEW**

●熊本地震への義援金・救済金について (5/10) **NEW**

●治安速報：イスタンブール (06/07)

●第24回参議院議員通常選挙に伴う在外投票の実施について (06/23) **NEW**

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。